

八千代オイコス かわら版

第8号

平成20年4月15日発行
NPO 法人八千代オイコス
<http://www.yachiyo-oikos.jp/>

代表理事新任のご挨拶

この度の第8回総会で八千代オイコス設立以来6年余に亘り代表理事の任に当たって来られた加藤氏の降板により重大な責務を継承する事となりました。



八千代オイコスは加藤氏の豊富な見識と着実な実行力により「八千代市の自然環境保全」と「街づくりに寄与する活動」を基本理念に市民・企業・行政との連携で数々の活動を展開して参りました。これはひとえに同氏の指導力の賜物と深く感謝申し上げます。

地球は温暖化による環境破壊が加速的に進んでいます。地球の平均気温の上昇は20世紀の100年間で約0.7とも1とも言われ年々深刻さが増しています。

京都議定書を取り交わして以来各国が温室ガス削減に努力を続けていること、又、今年7月に予定されている「洞爺湖サミット」の行方はこれからの私達や孫子の代への生活環境を左右する重大なポイントとして、環境活動に身を置く我々は大きな関心を以って見守りたいものです。

代表理事 川瀬 純一

その為に小さいながらもオイコスとして何をすべきか。何が出来るか。我々の活動の原点である<花輪川プロジェクト>を通じ、川の浄化活動・生き物を増やす(動植物)・河川周辺の清掃活動等地道な活動の積み重ねを続けることでしょう。八千代市も谷津・里山の保全に関する取り組みに動きが進み市民団体との懇談、シンポジウム、学習会等も行われオイコスの活動指向に良い状況も生まれつつあります。行政の更なる展開を期待するものです。

さて平成20年度のオイコスの事業が総会により決定致しました。環境保全活動による(1)よみがえれ花輪川事業(2)印旛沼連携プログラムを基本に夏の定番事業である「川の学校」のレベルアップ化、ホタル生息調査、竹炭焼き学習会等プログラムはいっぱいです。

私の代表就任としての抱負は、オイコス会員の増員 子供向け企画をもっと沢山提案する 花輪川の親水公園化。こんな事が実現出来たらもっと楽しい会になるかなと期待するものです。

最後にオイコスの更なる飛躍を期待して皆様と共に頑張ることをお誓いしてご挨拶と致します。

NPO八千代オイコス新体制発足

平成20年4月6日(日)、八千代市農業研修センターの会議室をお借りして八千代オイコス第8回総会が開催され、川瀬純一代表理事、桑波田和子理事(渉外担当)、田邊英明監事の新任、並びに小原翔(副代表・事務局長)、島秀光理事(会計担当)、金室彰理事(企画担当)の留任、加藤賢三代表理事、有光利文理事の退任が承認され新体制がスタートしました。

平成19年度活動報告 & 20年度活動計画

第8回総会で平成19年度の活動報告並びに平成20年度の活動計画が承認されました。
以下その概要をご紹介します。(事務局)

活動項目	19年度活動報告	20年度活動計画
1「よみがえれ花輪川」事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会・花輪川定例作業を毎月第1日曜に実施。 ・市環境美化アダプト制度に基づく作業と印旛沼環境基金助成事業にて、清掃、自然環境保全、草木の植樹、花壇の増設等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会・花輪川定例作業は、毎月最終日曜に変更し実施。 ・市のアダプト制度とも協議し「水辺の復活」「生き物の棲みかづくり」の活動を引き続き進めていく。
2 印旛沼連携プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・桑納川の睦橋～高橋間を清掃、自然観察を行った。 ・5月20日、7月31日、2月24日にエコウォーキングを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコウォーキングを5月25日(日)、8月2日(土)、11月2日(日)、3月22日(日)に開催予定。
3 川の学校開校・・・花輪川 	<ul style="list-style-type: none"> ・花輪川で子どもネット八千代と共同で8月1日、2日に開校。児童20名、総勢39名が参加。 ・千葉県環境学習委託事業として、8月11日に開校。児童29名、総勢61名が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に千葉県環境学習委託事業及び子どもネット八千代との共同で、小中学生を対象に、7月26日、27日、と8月2日、3日の2回、開校予定。
4 ホタル調査	<ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬～8月下旬、市内の生息状況を調査し、集計を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き生息状況を調査しホタルマップを作成する。
5 ホタルを探す会	<ul style="list-style-type: none"> ・石神谷津が宅地造成工事の為、観察地点までのコースが確保できず中止のやむなきに至った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生機構に観測地点までのコースの確保をお願いし、この会を再開したい。
6 竹炭焼学習会	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の不要竹の有効利用と水質浄化、販売可能な商品づくりのため、炭焼活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、5月、9月、3月と年3回行う予定。
7 米づくり体験	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から農作業の実態を知り、米づくりの体験を深めるため有志により開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き萱田地区に田圃を借り、有志により稲作を体験する。
8 花輪川フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・10月27日、28日、高秀牧場で、竹炭焼、バーベキュー、焼き芋、わらじ作り等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花輪川や桑納川におけるオイコスの活動を近隣の方により理解して頂くために秋に開催予定。
9 まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターに運営委員、スタッフとして会員が参画。 ・エコメッセ2007に参加(9月9日) ・「八千代市健康まちづくりプラン」へ参加 ・里山シンポジウム等各イベントへ参加。 ・「かわら版」の発行(年4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関する活動も引き続き積極的に展開してゆく。 ・「かわら版」の発行(年4回)

千葉県印旛沼プログラムより・・・
エコウォーキングをしました



2月24日(日)、オイコス主催のエコウォーキングを開催しました。当日は快晴ながら春一番の猛烈な強風でしたが市の広報で募集した12名の方が参加され八千代緑が丘駅を9時に出発、花輪川～桑納川へのエコウォーキングとなりました。

花輪川では高秀牧場さんから戴いた絞りたての牛乳を温め参加者の方に美味しく飲んでもらい我々の活動のPRにも耳を傾けてもらいました。

その後、オイコスのメンバーも含め二手に分かれ桑納川沿いに睦橋～高橋間のゴミ拾いをしました。紙くず、ビニール袋、空き缶、ペットボトル等々ボランティア袋8つにもなり、ゴミの多さに驚きばかりでした。

分別の仕分けは一苦勞でしたが、当日の目的を果たすことが出来、現地で昼過ぎに解散しました。本年度も5、8、11、3月に予定しておりますので多くの方の参加を願っております。(田邊)

東葉高速鉄道主催「菜の花ウォーク」に参加
「花輪川でホット牛乳のサービス」

3月15日(土)、前日の雨もすっかり上がり、絶好のウォーキング日和となった。東葉高速鉄道主催の「やちよ菜の花ウォーク」に昨年に続きオイコスも参加した。コースは八千代緑が丘駅から花輪川、桑納川、道の駅を経由して新川お花畑までの10Km。我々の待機する花輪川は八千代緑が丘駅から約2Kmの位置にある。

9時出発だったので早朝から準備に入った。近くの高秀牧場さんから絞りたての牛乳を戴き、炭で火を起し、ほどよい温度に温めてウォーカーが来るのを待った。

ほどなく先頭者が姿を見せ、途切れることなく350名以上の方が元気にやって来た。

「牛乳ってこんなに甘いのに」「広々とした田や川等、八千代にもいい自然があるのねえ」嬉しい言葉が耳に入って来た。小さな手伝いだったが多くの人に喜んでもらえた。今後も一つ一つ実績を積み重ね少しでも地域に貢献していきたい。(島)



第5回 NPO フォーラム in やちよ

～住みよいまちづくりに市民の力を～に参加して

3月20日(日)、八千代市総合学習プラザで「第5回 NPO フォーラム in やちよ」(主催：八千代市市民活動サポートセンター運営委員会・八千代市)が開催されオイコスも参加しました。

今回は、福祉、環境、子どもの分野から県内で活躍している NPO 団体の方の話と、NPO 活動(市民活動)についての基調講演がありました。また、「住みよい地域にするために何が出来るか? 何をするか?」をテーマに3分科会に別れ、話し合いました。

オイコスは、環境分科会に参加し、NPO 法人しろい環境塾の上西忠氏に、当団体の問題などを通して、しろい環境塾の大活躍の秘訣などをお聞きし大いに参考になりました。分科会で市内の環境団体が合同で活動する場(機会)づくりも必要との意見が出され、環境分野では今後も集り、話し合う場を設けましょうと決まりました。(桑波田)

里山シンポジウム「八千代と里山」分科会に出席して

千葉県は、平成15年、全国に先駆けて「千葉県里山条例」を策定し、この条例を広く周知し里山を保全していくため、里山シンポジウムを開催しました。

八千代市では平成18年に全体会を市民会館で開催し、今回、平成20年3月16日は分科会の開催となりました。「命を育む谷津・里山」をテーマに、講演と西八千代地区の区画整理事業の現状と八千代市の取り組みについて報告がありました。参加者は約80名、講師のケビン・ショート氏は、日本人以上に里山を良く知る印西市に住むアメリカ人です。「里山は生業が成立しなければ保全できない。生業が厳しく現在の日本の農家は、辞めるか辞めないかの2つの選択しかありません。ヨーロッパでは、続けられる仕組みがある」との言葉は強く心に響きました。人口増に伴う開発と緑の減少を現実に行っている八千代市と市民に出来ることを、今後の課題として取り組む必要を感じました。(桑波田)

花輪川は、八千代市の北西部、東葉高速鉄道の八千代緑が丘駅辺に源を発し、桑納川を経て新川に注ぐ約2kmの小川です。都市型準用河川ですが市内の他の河川とは違い数箇所に階段が施され唯一川面に下りて遊ぶことが出来る河川です。

平成10年からこの花輪川の景観、水質改善を目的として活動を開始しています。



1. 花輪川にしみだしている湧水を活用する。湧水を杭、ブロック、シート等を用いて流れを数メートルほど包囲し元の流れに戻す。この部分を魚類の棲みかとする。
2. 淀みや小池を設け流れの緩急を付ける。花輪川

~~~~~よみがえれ花輪川事業について~~~~~

の主流から土のある部分に小さいパイパスを作り、その流れの底に砂利を敷き入口に炭を設置し水質の浄化を図る。

3. 花輪川により多くの酸素を補給する。杭、石、ブロック、土嚢等で小型の堰を作る。小型水車や棚状の物を深みの部分に沈め、藻類等で微生物の棲みかを作ると共に水草などを生やす。
  4. 花輪川には日陰や木陰がまったくない。多自然型にするには菖蒲や水に強い木を植え木陰を作る必要がある。柳やケナフを植樹する。
  5. 家庭排水が川に注ぎ込む部分に浄化装置(ドラム缶等)を設置する。
- 等が活動の柱です。うまくいかなかったもの、未だ行っていないものもあります。

花輪川は千葉県民の水瓶である印旛沼に注いでいます。飲料水に利用している中で全国でワースト5を脱したことがない汚れた湖沼です。

花輪川がホタルもメダカも棲める市民の親しめる水辺として蘇えり「印旛沼の再生に貢献すること」が我々の活動の最終目的です。(小原翔)

少し体を動かして、ちよっぴりアカデミックで、時には、子ども達と一緒に

そんなオイコスの活動を一緒にしませんか！  
オイコスでは現在会員を募集中です。入会ご希望の方は事務局まで。年会費は千円です。

【編集後記】

森内名人に羽生二冠が挑戦する将棋の名人戦が始まりました。かつて大山・升田と並び称された升田幸三九段の座右の銘は「着眼大局、着手小局」とのこと。

前号の年頭の挨拶で加藤前代表理事も言われています環境活動の基本「Think Globally Act Locally」とは盤面は異なっても相通じる言葉でしょうか。(geta)

発行責任者 川瀬 純一

事務局&問合せ 小原 翔

☎ 047-450-4663

(メール) info@yachiyo-oikos.jp